

自己の成長を実感できる「評価」にするために

本校では、「学びファイル」を通して、児童一人一人の成長や課題を具体的にお伝えしたり、児童が学びファイルを振り返ることで、自己の成長や課題を実感したりすることのできる取組を行っています。

本来評価の目的

- 子ども自身が自らの学びを振り返り、次の学びに向かう意欲を高める。
- 保護者に子どもの伸びたところや課題を伝える。
- 教師が子どもの学習状況を捉え、指導の改善につなげる。



**子ども・保護者・教師が
学びの中身と結果を共有し、その子が次の成長へ向かえるようにする。**

従来のあるべき課題

- 学習に取り組む姿や考え方のすばらしさ、子どもが伸びた所よりも、できた・できなかったという結果が優先的に伝わりやすい。
- 「たいへんよくできました」の○の数で、各学期の学びが評価される。



学びの中身に焦点を当てづらい。

成長の過程として行う評価

学びファイルを通して、児童一人一人の学習に取り組む姿や考え方といった具体的な学習の状況进行评估する。



学びの中身を子どもが振り返ったり、保護者に伝えたりすることができる。

（評価の例）

- 単元末テストの内容を見て、苦手な分野を復習し直した。その結果、その分野での知識が増え、技能面が向上した。（知識・技能）
- これまで学んだ「図」を使って考えたら、複雑な問題も整理して解くことができた。（思考・判断・表現）
- 漢字百問テストで、自分の書けなかった字を何度も練習し、再テストに何度も挑戦した。その結果、今まで以上の点を取った。（学びに向かう力）

「学びファイル」



- ・全ての教科等のノートやワークシート
- ・振り返りシート
- ・観察・思考した記録
- ・思考力・読解力テスト
- ・基礎定着テスト
- ・作品 など

学びの過程が分かるものを綴っています。

「学びファイル」を活用した三者懇談会



- 子ども**はその学期で成長したと思うことや今後の学びの目標、
- 担任**は学期中のこどもの姿、
- 保護者**は思いや願いなどを伝え合います。こどもの学びの励みになり、更に頑張ろうと思えるものにします。

学年末には1年間の児童の成長の記録をお渡しします。

○「学びの記録」

- ・学習面・生活面についての所見
- ・1年間の出欠日数
- ・児童による振り返りなど

○学びファイル

○テストファイル(思考力を測る内容を含む)

※子どもは自分の1年間の成長や課題を学びファイルを示しながら保護者に説明します。

「期末テスト」を設け、単元テストだけではなく、長期的な視野からもこどもの学びが定着しているかどうか図れるようにしています。